



竜北通信 高岩

甲斐市立竜王北中学校
学校だより
発行 校長 依田宏記
令和3年度 第3号
2021. 5. 7

「夢中になる」ということ

もともと中学校の教員だった私ですが、教頭として3年、校長として2年、合わせて5年間小学校に勤務し、6年ぶりに中学校にもどって感じた小学校と中学校の大きな違いの一つが、子どもが「夢中になっている様子」を見る機会の多さでした。吹奏楽部が活動している竜王北小学校でも、基本的に放課後は活動がなかったため、小学校では帰りの会が終わり、16時を過ぎるとほとんどの子どもが下校してしまいます。ですから子どもたちの活動の様子というのは授業中にしか見られないこととなります。もちろん子どもたちが授業中に見せる姿も、その子が持つ一面であることは確かですが、どちらかというと「よそ行き」の部分になることは否めません。子どもたちが「夢中になっている姿」は「中休み」や「昼休み」など長めの休み時間に遊んでいる姿からうかがえたくらいです。

対して中学校では、「夢中な姿」は朝も放課後もたっぴり眺めることができます。それは子どもたちが部活動に打ち込んでいるからです。好きだから打ち込むのか、打ち込むから好きになるのか…。いずれにしても、運動部に所属する生徒たちは、選手権や交流試合、そして3年生にとって活動の集大成となる総体に向けて、また文化部の生徒たちもそれぞれの目標に向けて、時間を惜しんで活動しています。それぞれが夢中になって取り組んでいる姿は、実に清々しく、見ていて元気がもらえる気がします。

また、学校ではできない活動に取り組んでいる人もいるでしょう。大人から見れば取るに足りないように見えることに熱中している人や、いったん本を開くとときりがつくまではやめられない人、自分が納得できるまで楽器の練習を続けたい人、クラブチームやスポーツ少年団などで努力している人、勉強に集中する人などなど、10人いけば10通りの「夢中」があってしかるべきだと思います。もちろん、健康や日常の学校生活などとのバランスを保つことが大切ですが、中学生の今だからこそ何かに夢中になることはとても意味のあることに思えます。何かに夢中になることで、好奇心や向上心が生まれ、さらにそれらが育つことが期待されます。昔から「好きこそものの上手なれ」と言われるように、将来その道で何かを成し遂げることにつながるかもしれません。同じ思いを持つ仲間が得られるかもしれません。将来の何かに期待などしなくてもよいとさえ思えます。子どもだけでなく大人も、「夢中になれる何か」をもって充実した日々を過ごしたいものだと思ってしまう毎日です。

感染症対策と免疫力アップに

「ねこのしっぽ」

- ね：ねる・睡眠をしっかりとる
- こ：こまめに手を洗う
- の：飲み物・水分補給
- し：食事・三食しっかり食べる
- つ：強い体・適度な運動を
- ぽ：ポジティブな明るい気持ちで

中巨摩選手権大会・交流試合

4月29日(木)に中巨摩選手権大会・交流試合が行われました。あいにくの雨のため、交流試合の多くは中止になってしまい、また野球は5月1日(土)に延期となりましたが、それぞれの会場で精いっぱい力を発揮する様子が見られました。6月の総体に向けて、今後さらに実力を蓄えてくれるものと期待しています。

野球：1回戦0-2 (vs 楯形中)

男子バスケ：1回戦68-47 (vs 敷島中) 2回戦36-84 (vs 竜王中)

2日目順位決定戦52-56 (vs 田富中)

女子バスケ：1回戦24-91 (vs 双葉中)

男子バド：シングルス3位 望月結仁、佐保光希

ダブルス2位 望月-向山 3位 金丸-佐保、岩下-佐藤

女子バド：シングルス1位 雨宮優依 2位 八巻優日

3位 渡辺さやか、久木野優

ダブルス1位 渡辺-雨宮 2位 八巻-久木野 3位 小澤-奥石

剣道：交流大会のため勝敗つかず サッカー/男女テニス：雨のため中止

【北中HPで写真をたくさんご覧いただけます。】

